

# 補足説明書

C79412001

本書では、StandbyDiskを使用する前の大切な情報や、StandbyDiskに添付のマニュアル（PDFファイル）についての補足事項などを記載しています。StandbyDiskを使用する前に、必ず本書の内容をお読みください。また、「StandbyDisk」CD-ROMに登録されている「ReadMe.txt」も合わせてお読みください。

## マニュアルの見方

本書では、「オンラインマニュアル」の補足事項を記載しています。StandbyDiskの詳しい使用法は、「オンラインマニュアル（PDFファイル）」をお読みください。「オンラインマニュアル」は、次の場所から見ることができます。

[スタート] - 「(すべての)プログラム」 - 「StandbyDisk 2000-XP」 - 「オンラインマニュアル」をクリック

「オンラインマニュアル」をお読みになる前に、次の事項をご確認ください。

StandbyDiskを使用する前に、「オンラインマニュアル」 - p.8「ライセンス契約書」を必ずお読みください。

「オンラインマニュアル」に、モバイルラックについての記載がありますが、弊社では取り扱っておりませんので、あらかじめご了承ください。

HDDが故障してWindowsが起動しなくなったなど、万一の場合に備え、「オンラインマニュアル」 - p.59「ハードディスクドライブクラッシュから復元する」、p.63「ドライブ構成を修正する」をお読みになり、あらかじめ対処方法をご確認ください。

## StandbyDiskの概要

StandbyDiskとは、オリジナルドライブ（Windowsやアプリケーションなどを保存するHDD）のバックアップを、バックアップドライブ（バックアップ専用HDD）に作成するソフトウェアです。本書および「オンラインマニュアル」では、オリジナルドライブおよびバックアップドライブを次のように記載します。

オリジナルドライブ：ソースドライブ

バックアップドライブ：DPSR<sup>\*</sup>ドライブ

<sup>\*</sup>Data Protection/System Recovery（データ保護/システム回復）

ソースドライブのすべてのデータをDPSRドライブにバックアップすることで、万一、ソースドライブから起動しなくなった場合でも、DPSRドライブから起動するように設定すれば、即時復旧が可能です。Windowsやアプリケーションなどの再インストールは必要なくなります。

StandbyDiskの主な機能は、次のとおりです。

- ・ ソースドライブの全データを、DPSRドライブにバックアップする。
- ・ DPSRドライブの全データを、ソースドライブに復元する。
- ・ バックアップ・復元を、ファイル・フォルダ単位で行う。
- ・ スケジュールを設定して、定期的にバックアップする。

万一、ソースドライブから起動しなくなった場合に備え、ソースドライブは定期的にバックアップしましょう。



制限

ソースドライブにウイルスが感染した場合は、ソースドライブのバックアップは行わないでください。DPSRドライブにも感染してしまいます。万一、ウイルスに感染した場合は、必ずシステムからウイルスを除去したあとに、ソースドライブのバックアップを行ってください。

StandbyDiskを使用しても、作業状況によっては、データを完全にバックアップすることはできません（例えば、HDDが故障してしまうと、最後のバックアップから故障までに作成したデータがバックアップされていないなど）。大切なデータは、別のメディアなどにもバックアップしておいてください。

## HDDの設定

購入時には、StandbyDiskはあらかじめインストールされています。HDDの設定を行うとStandbyDiskを使用できるようになります。HDDの設定は、コンピュータに装着されている2台のHDDを、ソースドライブ、DPSRドライブとして設定します。

### HDDの設定 状態

購入時の2台目のHDDは、あらかじめ未設定領域になっています。2台目のHDDは未設定領域のままHDDの設定を行います。

HDDの設定を行うと、1台目のHDD(Windowsやアプリケーションが登録されている)と2台目のHDD(未設定領域)は、それぞれソースドライブ、DPSRドライブとして設定されます。

「コンピュータに添付されている『ユーザズマニュアル』や『HDD2台装着モデルをお使いの方へ』の記載内容と一部異なります。



2台目のHDDは、HDD領域にパーティションなどを作成してしまうと、DPSRドライブに設定することができません。

2台目のHDDは、DPSRドライブに設定すると、Windows上からは見えなくなります。

### 設定方法

HDDの設定は、StandbyDiskの「設定ウィザード」で行います。下記手順は、1台目のHDDをソースドライブ、2台目のHDDをDPSRドライブに設定し、その後、ソースドライブのすべてのデータをDPSRドライブにバックアップする方法です。そのほかの設定についての詳細は、「オンラインマニュアル」- p.21「第3章 構成」をお読みください。

- 1 [スタート]-「(すべての)プログラム」-「StandbyDisk 2000-XP」-「設定ウィザード」をクリックします。
- 2 「設定ウィザードへようこそ」と表示されたら、[次へ]をクリックします。
- 3 「ソースディスク」と表示されたら、[次へ]をクリックします。
- 4 「DPSRディスク」と表示されたら、[次へ]をクリックします。
- 5 「ソースディスクのパーティション」と表示されたら、表示されたパーティションすべてにチェックを付けて、[次へ]をクリックします。



- 6 「設定詳細」一覧が表示され、ソースドライブとDPSRドライブの容量が表示されます。[完了]をクリックします。
- 7 「警告」画面が表示されたら、[OK]をクリックします。
- 8 「選択されているディスクの完全バックアップを開始しますか？」と表示されたら、[はい]をクリックします。  
ソースドライブのすべてのデータが、DPSRドライブにバックアップされます。この作業には、しばらく時間がかかります。
- 9 「設定ウィザード」画面内のメッセージが表示されている部分に、「設定タスクが全部完了しました。」と表示されたら、[完了]をクリックします。これで、HDDの設定は終了です。  
「スケジュールウィザードを自動実行する」にチェックが付いていると、[完了]をクリック後に、「スケジュールウィザードへようこそ」と表示されます。スケジュールを設定して、定期的なバックアップを行う場合は、画面の指示に従って設定してください。



#### 参考

スケジュールを設定してバックアップするときは

バックアップ作業は、コンピュータに負荷がかかります。スケジュールは、コンピュータ上で何も作業していない状態(アイドル状態)に合わせて設定することをおすすめします。

## 常にバックアップ状態を確認する

StandbyDisk が正常に動作し、バックアップが行われているかどうかを、常に確認してください。

「管理ツール」のイベントビューアで、「正常終了」と表示されていれば、バックアップ作業が正常に行われています。

「イベントビューア」は、次の場所から開きます。

Windows 2000 : [スタート] - 「設定」 - 「コントロールパネル」 - 「管理ツール」  
- 「イベントビューア」

Windows XP : [スタート] - 「コントロールパネル」 - 「パフォーマンスとメンテナンス」 - 「管理ツール」 - 「イベントビューア」

## ソースドライブから起動しなくなった場合は

ソースドライブから起動しなくなった場合は、コンピュータの修理が必要です。万一、ソースドライブから起動しなくなった場合、次のように対処します。

DPSRドライブから起動できるように設定する。

DPSRドライブから起動させるには、BIOS Setup ユーティリティの設定値を変更します。変更する設定値は次のとおりです。

項目 : 「Main」メニュー画面 - 「Primary Master」 - 「Type」  
変更後の設定値 : None (初期値は「Auto」)

起動状態の確認と修理について

DPSRドライブから起動できる場合

DPSRドライブを使用してコンピュータを使用することができます。ただし、DPSRドライブをソースドライブとして使用するため、バックアップ作業が行えません。このままの状態で使用せず、お早めに修理することをおすすめします。

修理のご依頼は、販売店、サービスセンターまたは修理センター\*までご連絡ください。修理により、データを損失する恐れがあります。修理に出される前に、必ず大切なデータのバックアップを行ってください。

DPSRドライブから起動できない場合

DPSRドライブ側にも何らかの異常が考えられます。早急に修理する必要がありますので、販売店、サービスセンターまたは修理センター\*までご連絡ください。

\* 連絡先については、コンピュータに添付の『サポートサービスのご案内』または『サポートと保守サービスのご案内』をご覧ください。

コンピュータが修理から戻ってきたら...

HDDの設定(ソースドライブ、DPSRドライブとして割り当て)を行ってください。

 p.3 「HDDの設定」

## StandbyDiskを再インストールするときは

StandbyDiskを再インストールするときは、シリアル番号が必要です。シリアル番号は、StandbyDiskのCD-ROMが収納されている紙ケースに記載されています（12桁の番号）。再インストール中にシリアル番号を要求されたら、記載されている12桁の番号を入力してください。

StandbyDiskのCD-ROMが収納されている紙ケースを大切に保管してください。

## サポートのご案内

StandbyDiskに関するお問い合わせは、（株）ネットジャパンへご連絡ください。

	テクニカルサポート
窓口	（株）ネットジャパン カスタマーサービス部
電話	03-3864-5266
FAX	03-3864-5244
Eメール	sbd-support@netjapan.co.jp
営業時間	10:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00 （土日祝日は除く）

MEMO



**r100**

古紙配合率100%再生紙を使用しています。



大豆油インキを使用しています。